

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスナナララ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

7年

2月

20日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・生きづらさを感じるどんな子どもたちでも安心して気持ちを表現できる居場所を作る。 ・一人ひとりの輝く個性が潰れることなく、平等に社会で発揮できる未来を創造する。 ・「誰一人取り残さない」療育を目指し、どんな子供たちも安心して気持ちを表現できる事業所を創ります。 						
支援方針		発達の土台作りを行う <ul style="list-style-type: none"> ・感覚・姿勢・運動 ・情緒の安定 ・日常生活スキルの練習 						
営業時間		9時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●健康状態の維持・改善のため、来所時の健康チェックを実施する。（ご家族との情報共有を含む） ●来所時の準備（私物の管理）・衣服の着脱（気温や室温に合わせた衣服の調整）・排泄等、個々に合わせて最適な介助を行う。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活に必要な動作の基本である姿勢保持や上下肢の運動・動作の改善及び習得を支援する。 ●保有する五感の感覚を十分に発揮できるようアセスメントを行い、運動プログラム（室内サーキット、戸外遊び、お散歩等）を通じて取り組む。 ●小麦粉、寒天、片栗粉等を使った感触遊びや、様々な素材を用いて好きな触覚を取り込む。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●自分で分かって動けるための手順やスケジュールの提示を行う。 ●選択肢の中から自ら選ぶ経験や一目見て分かる課題の提示を行う。 ●行動の分析を行い、不適切な行動に対しての代替行動の形成を図る。 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●簡単なあいさつや対話を通じて支援者もしくは友達との円滑なコミュニケーションを図ることが出来るように支援を行う。 ●ジェスチャー・絵カード等、発達段階に合わせたコミュニケーション方法を見つけていく。 ●「ちょうだい」「貸して」「手伝って」「いや」「しない」等の意思の表出をジェスチャー・カード・筆記等で促す。 ●適切な場面で適切に伝えられるかを評価し、個々に合わせて伝え方を知らせていく。（実物、写真、イラスト、文字、表、感情カード等） 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●他者と一緒に「楽しい」「できた！」「もう一回！」の思いを共有することができる活動の場を提供する。 ●対話を通じて自分の思いを受け止められる経験を重ねる。 ●安心できる環境で支援者と信頼関係・愛着関係の形成を目指す。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ●定期的な勉強会・個別面談などを実施する。 ●困りごとがあった時に相談できる環境を設定する。 ●保護者交流会や参観などを開催する。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ●小学校・関係機関・保護者などを含めた連携会議を実施する。 ●進学・就学に向けたサポート支援を実施する。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ●園、関係機関などと連携を密に図り、情報共有を行う。 ●支援の方向性を互いに理解し、役割分担を行う。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ●事業所内での研修や外部研修を受講し、知識向上を図る。 ●他の事業所と交流を行う。 	
主な行事等		季節に応じた行事（お正月、節分、お雛様、こどもの日、クリスマスなど）・お誕生会など						